令和5年度

第5次防府市総合計画 輝き!ほうふプラン 重点プロジェクト進捗管理シート及び 行政経営改革の主な取組状況一覧



防府市 令和5年12月 体系

[1]新庁舎を中心とした安全・安心の基盤づくり

●「安全・安心の拠点となる、まちの顔としての新庁舎」が完成します。

最新の設備と防災拠点機能を備えた新庁舎の建設 ☞ 令和7年1月供用開始



主な 事業内容

- ・基礎免震構造の採用をはじめ、最新の災害対応設備の導入により、<u>防災拠点機能を強化</u>する。
- ・デジタル化の推進、福祉関係窓口の一体化等により、<u>市民サービスの向上</u>を実現する。
- ・最新の高効率空調システムやLED照明等の導入により、環境負荷を低減する。



地方財政措置の活用による<u>市の実質負担の低減</u>、既存施設の賃借等による 事業費の抑制を図る。

当初スケジュール

Ι.							
	新庁舎整備項目	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
	解体工事	2 ・ 3 号館解体			1 · 4	・5 号館解体	
	新築工事		新庁舎	建設工事	供用開始	à	
	立体駐車場・外構工事					工事	

現在のスケジュール



※スケジュールの変更は**赤色**で表示しています。(以降同じ)

- ・新庁舎建設工事に伴う対応として、移動せずに手続きができる「総合相談窓口」を設置 (令和3年11月)。
- ・市庁舎2・3号館等の解体工事が完了。

これまでの 実施状況

- ・新庁舎建設工事(本館・福祉棟)に着手。 ・新庁舎フェンスアートプロジェクト(「仮囲い」を大きなキャンバスに見立て、市内の美術部等
- ・免震装置の市民見学会を開催(令和5年7月)。

の中学生が制作した絵画を展示)を実施。

R6年度 以降の取組

- •DX(窓口サービスのスマート化、デジタルサイネージの導入など)やカーボンニュートラル (ビルエネルギー管理システム、LED照明の導入など)に対応した新庁舎建設工事。
- ・新庁舎建設工事に加え、家具・什器・備品類の調達及び立体駐車場建設工事。

〈新庁舎建設工事の状況〉 令和7年1月6日供用開始予定!

令和5年6月撮影





仮設タワークレーンの設置





免震装置の市民見学会





5階床までの柱・梁・床組みが完了







8階床の鉄骨工事に着手

体系

[1]新庁舎を中心とした安全・安心の基盤づくり

2 公民館などの公共施設の安全性を高めます。

①小野公民館の移転・建替え



- ・災害時の避難場所として適切な旧小野小学校跡地へ移転、建替え。
- ·老人憩の家、分団消防器庫を複合化。



②牟礼公民館の移転・建替え ③消防署東出張所の移転・建替え

- ・防災上安全な環状1号線沿い(県道)へ移転、建替え。
- ・老人憩の家、分団消防器庫を複合化。

牟礼公民館 浸水想定区域内 牟礼公民館 消防署東出張所 浸水想定区域内 消防署東出張所

主な 事業内容

④宮市福祉センターの耐震化 🥱



・耐震基準を満たすよう耐震化工事を行う。

5 障害者福祉施設の防災対策

・移転も含めた防災対策の検討を行う。



大平園 (障害者入所施設)



愛光園 (障害者就労支援施設)



なかよし園 (障害児通所支援施設)

当初スケジュール 項 目 **R** 3 R 4 R 5 R 6 R 7 R 8 ①小野公民館の移転・建替え 建設 供用開始(5月予定) 用地取得・設計 ②牟礼公民館の移転・建替え 調査 建設 供用開始 用地造成(盛土) ③消防署東出張所の移転・建替え 建設 供用開始 実施設計 設計 ④宮市福祉センターの耐震化 工事 完了 5 障害者福祉施設の防災対策 研究 ☞ 調査 ☞ 候補地選定 ☞ 基盤整備 設計 (大平園・愛光園・なかよし園)

主な 事業内容

現在のスケジュール



①小野公民館の移転・建替え

・令和4年5月5日、新公民館を開館。

②牟礼公民館の移転・建替え

- ・防災上安全な環状1号線沿いの県有地を移転先に決定。
- •令和4年度に用地取得、用地造成、用地測量を実施。
- ・令和4・5年度に設計業務を実施。

③消防署東出張所の移転・建替え

これまでの 実施状況

- ・令和4年度に移転先県有地の所有権移転を完了。
- ・令和4年度に用地造成(盛土)を実施。
- ・令和5年度に設計業務を実施。

④宮市福祉センターの耐震化

・令和4年度に耐震化工事及び照明のLED化を実施。

⑤障害者福祉施設の防災対策

- ・庁内検討委員会により、大平園・愛光園・なかよし園の建設候補地を現在地に決定。
- ・令和5年度は現在地での建替えに向け、基本計画策定業務に着手。

②牟礼公民館の移転・建替え

・建設工事の実施。

R6年度 以降の取組

③消防署東出張所の移転・建替え

・建設工事の実施。

|⑤障害者福祉施設の防災対策

・基本計画の策定、設計等を進める。

体系

[1]新庁舎を中心とした安全・安心の基盤づくり

❸ 新たな道路網「防府・未来へのネットワーク」を築きます。

防府・未来へのネットワーク構想 防府駅前ルルサス北側道路 (仮称)広域防災広場 1 富海拡幅 6 山口方面 アクセス道路 (市道栄町藤本町線) 山口県庁 山口南 **←** IC 農道牟礼小野線 2 福岡方面 広島方面 県立総合 台道拡幅 農林業の知と技の拠点 医療センタ ♦防府西 徳山西 防府東 山陽自動車道 IC ■ 国道2号 華城小学校周辺道路 (都市計画道路松崎植松線) 県道防府環状線 3 山口宇部 (市道小徳田野地線) 空港 自衛隊防府北基地 牟礼小学校周辺道路 → 空路の拠点 9 (都市計画道路松崎牟礼線) 上海路の拠点 [三田尻大橋] 中関港 (仮称)防府北基地東道路 都市計画道路環状一号線 4 上海路の拠点

災害時や緊急医療における市民の安心・安全を確保するため、国・県・市が連携し、 各輸送拠点と**防災拠点や医療拠点をつなぐ幹線道路ネットワークの構築**を進める。

当初スケジュール

主な 事業内容





①国道2号の整備(富海拡幅)【国】: 拡幅工事中

(R3~R6)事業促進を国に要望。

|②国道2号の整備(台道拡幅)【国】: 台道~山口市鋳銭司間の整備

(R3)山口市、防府市で構成する期成同盟会により、早期事業化を国に要望。

(R4)国、県、山口市、防府市で構成する整備方針策定のための検討会を開催。 官民一体となった「国道2号整備促進総決起大会」を開催。

【国】県に都市計画素案を提出。

(R5~)令和6年度の事業化に向けて、国に強く要望。

③県道防府環状線の整備【県】: 牟礼小学校付近〜国道2号間の道路新設工事 (R3〜R4)【県】道路整備事業を実施。

(R5~) 【県】道路整備事業を実施。

【市】県道防府環状線と国道2号の接続道路(市道)拡幅事業を実施。

④都市計画道路環状一号線の整備【県】:新田工区(クリーンセンター~テクノタウン交差点前)の現道拡幅工事

(R3~R5)道路改良工事を実施。

(R6)引き続き道路改良工事を実施。

⑤農道牟礼小野線の整備【県】: 災害時の避難道にもなる農道の整備 (小野〜牟礼間の道路新設工事)

(R3~R5)市施工区間、県施工区間ともに、スケジュールどおり工事を実施。

(R6) 市施工区間:令和7年度の供用開始に向け工事を実施。

県施工区間:スケジュールに沿った工事を実施。

これまでの 実施状況

⑥広域防災広場アクセス道路の整備【県】: 国道2号から広域防災広場、県立総合医療センター間の道路整備

(R3)整備を県に要望。

R6年度 以降の取組

(R4)【県】4月に地元説明会を開催。予備調査(測量、設計)を実施。

(R5)【県】5月に地元説明会を開催。詳細設計、建物等調査(一部)を実施。

(R6)引き続き県により事業の推進。

⑦防府駅前ルルサス北側の道路整備:市道栄町藤本町線(旧国道2号〜ルルサス北側を差点間)

(R3)路線北側:工事に着手。

路線南側:用地測量。

(R4)路線北側:令和4年7月に供用開始。

(R5)路線南側: 令和5年度中の供用開始を予定。

⑧華城小学校周辺の道路整備:都市計画道路松崎植松線、市道小徳田野地線

(R3)測量、設計業務を実施。

(R4)7月に地元説明会を開催。詳細設計を実施。

(R5)補償算定、用地取得を実施。

(R6)引き続き、用地取得を行う。

⑨牟礼小学校周辺の道路整備:都市計画道路松崎牟礼線 ※第2期整備(多々良〜岩畠間)

(R3)事業認可を受け、詳細設計、用地測量を発注。

(R4)詳細設計、用地測量を実施。

(R5)用地取得を実施。

(R6)引き続き、用地取得を行う。

⑩防府北基地東道路の整備:田島~伊佐江間の道路整備

(R3・4)交通量調査・解析及び概略設計を実施。 都市計画決定などの法的手続きを進める。

(R5)現地測量、設計に着手。

都市計画決定変更予定。

(R6)詳細設計、用地測量、用地取得を実施。

体系

[1]新庁舎を中心とした安全・安心の基盤づくり

4 防府のまちの防災ネットワークを築きます。

①文化福祉会館解体後の跡地への防災広場の整備

- ・新庁舎建設に伴う公共施設の再編により空き地となる 文化福祉会館跡地を、**市街地の防災拠点として整備**。
- ・平常時はにぎわい創出の場として活用。

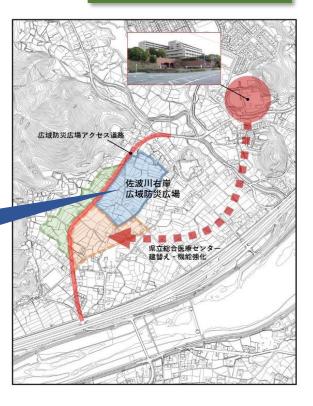
防災広場と駐車場を 備えた跡地の活用

文化福祉会館解体後の跡地 防災広場、駐車場 の整備

②佐波川右岸地域への防災広場の整備

- ・災害時の広域的な防災拠点として整備。
- ・平常時は多目的広場及び市民の憩いの場と しての活用も想定。
- ・災害拠点病院である県立総合医療センターとの 連携強化。

応急仮設住宅も建設可能な 大規模な防災広場



主な 事業内容

当初スケジュール

項目	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
①文化福祉会館解体後の跡地への 防災広場の整備	調	· 查	設言	† ・測量 ☞ 工事		
②佐波川右岸地域への防災広場の 整備	基本	構想・調査・設	計・測量・用地	取得 🕶 工事		



項目	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
①文化福祉会館解体後の跡地への 防災広場の整備		調査		設計・測量	工事	
②佐波川右岸地域への防災広場の 整備	基	本構想・調査・	・設計・測量・月	月地取得☞工事		供用開始予定

これまで 実施状 <i>況</i>	
R6年度 以降の取	①文化福祉会館解体後の跡地への防災広場の整備 ・平常時の活用方法や周辺道路の整備等を検討。 ・文化福祉会館の解体に着手。 ②佐波川右岸地域への防災広場の整備 ・整備工事に着手。

1 安全・安心を第一にしたまちづくり

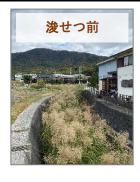
体系

[1]新庁舎を中心とした安全・安心の基盤づくり

⑤ 災害を未然に防ぐ工事を進めます。

①河川の浚せつなど

・市内全域の市管理河川の<u>後せつ・改修</u>により、 河川氾濫による浸水被害の軽減を図る。





②雨水排水施設の整備

・水害の防止軽減を図るため、幹線排水路・ポンプ場等の整備を行う。

③市街地の雨水排水対策

・浸水対策を計画的に進めるため、市街地の雨水管理総合計画(下水道)を策定する。

④ため池の改修など

・<u>ため池の改修、廃止、浚せつ</u>を行い、ため池の決壊等による災害を未然に防止する。



⑤砂防えん堤の整備など

・砂防事業や急傾斜地崩壊防止対策事業により、

土砂災害防止を図る。





主な 事業内容

当初スケジュール

項目	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
①河川の浚せつ など			整備促進			
②雨水排水施設の整備 (新開作ポンプ場 ほか)	向島郷ヶ崎東ポン		査☞設計☞工	新開作ポンプ場 事	完成(R 6)	
③市街地の雨水排水対策				}		
④ため池の改修 など	後ヶ浴1号、大名		周査・分析 ☞ 計 也完成(R3)		完成(R 6)	·····
(名舟ため池 ほか)						
⑤砂防えん堤の整備 など(貸草2川)	測量調査設計		用地取得 🕶	工事		>
(上坂本東大川 ほか)	_	_	整備促進			



現在の人グラエール						
項目	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
①河川の浚せつ など			整備促進)
②雨水排水施設の整備 (新開作ポンプ場 ほか)	向島郷ヶ崎東ポン		完成) 新開 計 ► 設計 ► 工	作ポンプ場(<mark>R</mark> 事	10完成予定))
③市街地の雨水排水対策		現地記	周査・分析 ☞ 計	画策定		
④ため池の改修 など (名舟ため池 ほか)	後ヶ浴1号、大	谷口(R3完成) 上洗川ため池完	成(R 4完成))	め池完成(R95 池完成(R105 (R6完成予定)	
(477,537,5 13.07)			設計 ☞ 工事	<u> </u>		>
⑤砂防えん堤の整備 など〈貸草2川〉 (上坂本東大川 ほか)	測量記	直設計	整備促進	用地取得 🖝 工事		

災害を未然に防ぐ工事については、国や県と連携をとりながら、計画的に進める。

①河川の浚せつなど

- •河川浚せつ R3:43箇所 R4:18箇所 R5:9箇所実施予定
- •河川改修 R3:1箇所 R4:1箇所 R5:3箇所実施予定

②雨水排水施設の整備

- •1号幹線水路:工事施工中。
- ・向島郷ヶ崎東ポンプ場の整備(令和4年6月完成)。
- ・南蛮樋ポンプ場・2号幹線水路:実施設計を実施。
- ・諏訪屋ポンプ場:基本設計を実施。
- ・新開作ポンプ場:実施設計を実施。

これまでの 実施状況

③市街地の雨水排水対策

- ・雨水管理方針(浸水対策基本方針)を令和4年3月策定。
- ・雨水管理方針に基づき、段階的対策計画を作成中。
- 内水浸水想定区域図作成に向けた現地調査。

④ため池の改修など

- ・後ヶ浴1号、大谷口ため池:令和3年度工事完成。
- ・上洗川ため池: 令和4年度工事完成。
- ・名舟ため池: 改修工事中。
- ・ソウケため池:実施設計を実施。

⑤砂防えん堤の整備など

- ・自由ヶ丘東川・上坂本東大川:工事中。
- ・貸草2川:測量調査設計を実施。

①河川の浚せつなど

・計画的に浚せつ・改修工事を実施。

②雨水排水施設の整備

- •1号幹線水路:工事を実施。
- •2号幹線道路:工事を実施。
- •諏訪屋排水機場: 実施設計。
- ・新開作ポンプ場:改修工事。

③市街地の雨水排水対策

R6年度 以降の取組

- ・雨水管理方針と段階的対策計画による雨水管理総合計画を策定。
- ・内水浸水想定区域図及び内水ハザードマップの作成。

④ため池の改修など

- •名舟ため池:改修工事。
- ・ソウケ堤ため池:改修工事。
- ・一ヶ谷ため池:実施設計。

⑤砂防えん堤の整備など

•計画的に整備を実施。

1 安全・安心を第一にしたまちづくり

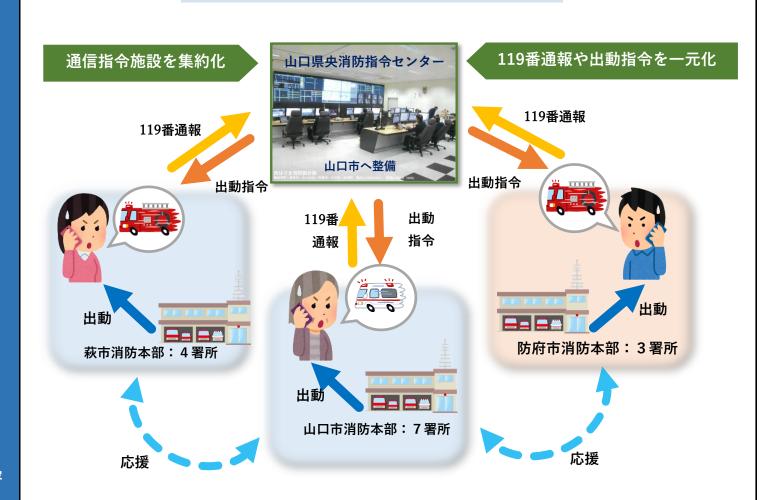
本冊27頁

体系

[1]新庁舎を中心とした安全・安心の基盤づくり

❻ 火災や事故に迅速に対応します。

通信指令業務の共同運用



主な 事業内容

- ・防府市・山口市・萩市の3市連携により、<u>山口市に通信指令施設を集約</u>し、令和7年度に 消防通信指令業務の共同運用を開始する。
- ・施設の集約化と業務の一元化により、<u>災害対応力の向上</u>、<u>組織体制の強化</u>、<u>費用の削減</u>が可能になる。

当初スケジュール



項目	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
①通信指令業務の共同運用	7 4.00	設計	シス	共同運用開始	
【再掲】 ②消防署東出張所の移転・建替え	用地造成	(盛土)	実施設計	建 設	供用開始

①通信指令業務の共同運用

- ・令和3年7月、山口市・萩市・防府市の3市で通信指令業務共同運用の連携協定を締結。
- ・事業計画に基づき、実施設計や規約の策定等を行う。
- ・令和5年4月、法定協議会を設置。
- ・令和4~5年度に指令センターのシステム構築業務を契約、実施中。

これまでの 実施状況

②【再掲】消防署東出張所の移転・建替え(P4)

- ▶・令和4年度に移転先県有地の所有権移転を完了。
- ・令和4年度に用地造成(盛土)を実施。
- ・令和5年度に設計業務を実施。

①通信指令業務の共同運用

・システム構築業務を継続実施。

R6年度 以降の取組

②【再掲】消防署東出張所の移転・建替え(P4)

・建設工事の実施。

体系

[2]市民・地域と進める防災力・減災力の強化

- ❶ 地域の消防団活動を支援します。
- 2 地域が取り組む防災活動を支援します。
- 3 自治会館の建替えを促進します。

1消防団活動の支援

- ・消防団員の資質の向上を図るため、必要な教育訓練を行う。
- ・消防団消防器庫や装備品、資機材を整備する。



②地域の防災活動の支援

主な 事業内容

- ・<u>地域の防災力向上</u>のため、防災リーダーの養成や自主防災組織の活動を支援する。
- ・消防団や防府市防災士等連絡協議会と連携し、**防災訓練や啓発活動**を行う。
- ・高齢者世帯に緊急告知防災ラジオを配付する。



令和 4 年度防府市地域防災訓練

③自治会館の建替え促進

・災害発生時には地区一時避難場所等ともなる<u>自治会館の新築・建替え</u>を促進する。

①消防団活動の支援(消防団員教育訓練実施事業)

- 各分団訓練により団員個々のスキルアップを実施中。
- 市消防操法大会を実施。
- ・県消防学校での教育訓練(土砂災害活動対応研修及び操法指導科)及び伐木等業務特別教育講習に団員を派遣。
- ・消防ポンプ自動車の更新。

②地域の防災活動の支援

- ・自主防災組織への補助金を交付(結成、活動、資機材整備費)。
- ・玉祖地域自治会連合会、小野地域自治会連合会に、発電機等の防災資機材の整備費用を 助成。

これまでの 実施状況

- ・令和3年6月、小野、右田、玉祖の3地域で住民主体の防災訓練、市職員による避難場所開設訓練を実施。
- ・令和4年6月、大道、西浦、中関の3地域で住民主体の防災訓練、ドローンを使用した災害時の情報収集訓練を実施。
- •75歳以上の高齢者のいる世帯に、緊急告知防災ラジオを無償配付。
- ・令和5年6月、向島、牟礼、富海の3地域で住民主体の防災訓練、市職員による避難場所開設訓練を実施。消防団の訓練参加による住民との連携強化を図った。

③自治会館の建替え促進

- ・令和3年度、若宮及び古谷河内の自治会館の新築整備に対する助成。
- ・令和4年度、下河内自治会館の新築整備に対する助成。

①消防団活動の支援(消防団員教育訓練実施事業)

•市消防操法大会の実施。県消防学校で行われる教育訓練等に団員を派遣。

②地域の防災活動の支援

・自主防災組織の支援。

R6年度 以降の取組

- ・地域において住民主体の防災訓練、市職員による避難場所開設訓練を実施。
- ・緊急告知防災ラジオの普及(無償配付)・啓発。

|③自治会館の建替え促進

・自治会館の建替え促進に取り組む。

1 安全・安心を第一にしたまちづくり

本冊29頁

[3]地域で安全に暮らすための基盤づくり

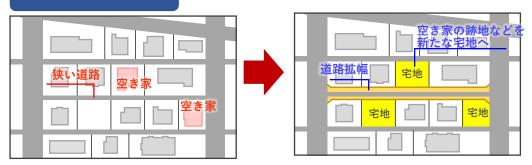
体系

- 危険な空き家を解消し、居住環境の再生につなげます。
- 2 良質な市営住宅を提供します。

①空き家の解体・利活用

- ・空き家の適正管理や<u>利活用</u>を促進する一方で、危険な空き家は早期の解体に努める。
- ・モデル地区を選定し、<u>空き家と狭あい道路の一体的な解消</u>を目指す。

防府モデルの構築



②市営住宅の長寿命化

- ・「防府市公営住宅等長寿命化計画」を見直し、計画に基づく改修工事や建替えを実施する。
- ・老朽化の進む坂本住宅の建替えを行う。

主な 事業内容

当初スケジュール







①空き家の解体・利活用

- |・全国版空き家・空き地バンク登録物件を購入した個人に改修費用を補助。
- |・空き家無料相談(宅地建物取引士)を毎月開催。(R4年度開催数:12回参加者数:31人)
- ・危険空き家及び老朽化した空き家の解体に掛かる費用を補助。(R4年度交付件数:38件)
- ・空き家と狭あい道路の一体的な解消を目指す「防府モデル事業」の実証実験の実施及び結果の検証。

これまでの 実施状況

②市営住宅の長寿命化

- ・令和3年度、「防府市公営住宅等長寿命化計画」を改定。
- ・計画に基づく、丸山・古祖原住宅の外壁改修、吉敷・柳原南住宅のブロック塀改修を実施。
- ・令和4年度に坂本住宅建替基本方針を策定。
- ・令和5年度、建替予定の坂本住宅の敷地測量を実施。

①空き家の解体・利活用

・「防府モデル事業」の本運用開始。

R6年度 以降の取組

②市営住宅の長寿命化

|・丸山・西石ヶ口・新橋町住宅の外壁改修、西石ヶ口住宅のガス管改修を実施。

2 未来を拓く子どもの育成

本冊31, <u>32頁</u>

[1]子どもが健やかに育つ環境づくり

体系

- 子どもの健やかな成長のための切れ目ない支援を行います。
- 2 親子へのサポート体制を充実します。

①子どもの健やかな成長のための切れ目ない支援

・子育て世代の希望がかなうよう、<u>妊娠前から出産、子育てまでの切れ目ない支援</u>を行う。

②ほうふっ子応援パッケージ

・防府市独自の子ども・子育て支援「ほうふっ子応援パッケージ」を構築する。

ア.葉酸サプリメントの配布

婚姻届または妊娠届の提出 時に、妊婦や胎児の成長に 必要な葉酸のサプリメント を配布します。

イ.妊婦の健康サポート

元気な子どもを出産できる よう、妊婦の健康をサポートするための旬の地元食材 などを贈ります。

ウ.子どもの誕生・成長サポート

子どもの誕生をお祝いするとともに、子どもの健やかな成長を願い、旬の地元食材や贈呈品を贈ります。

エ.木のおもちゃの贈呈

幼児(1歳6か月) へ自然の木 のぬくもりを感じられる山口 県産木材を使用したおもちゃ を贈ります。

オ.新入学児童用かばんの贈呈

新入学児童に防府市オリジナル の軽くて安全・安心でコンパク トな新入学児童用かばんを贈呈 します。

(拡充

子ども医療費の無償化

医療費の無償化を高校生まで拡充します。

主な 事業内容

当初スケジュール

項目	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
ほうふっ子応援パッケージ			実施 📂 検証			

現在のスケジュール

項目	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
ほうふっ子応援パッケージ		実施 ┏	検証 ☞ 制	度の充実		

③子育て世代へのサポート体制

・親が安心して子育てができ、子どもが安全に成長できるようなサポート体制を充実させる。

①子どもの健やかな成長のための切れ目ない支援

- ・産後ケア(宿泊型・日中一時滞在型)事業を実施。
- ※以下、R5実績はR5.4.1~R5.10.31分
- ・子育ての悩み相談や休養のため、産婦人科に一時滞在又は宿泊。(宿泊型R3:延べ45人、R4:延べ35人、R5:延べ34人 日中一時滞在型R3:0人、R4:0人、R5:延べ48人)
- ・不安の強い産婦に対し、臨床心理士によるカウンセリングを実施。(R3:8人、R4:7人、R5:4人)
- ・令和4年度から、3歳児健康診査の視力検査に屈折検査機器を導入。
- ・令和4年度から、1歳児におけるおたふくかぜワクチン予防接種費用の助成を開始。

②ほうふっ子応援パッケージ

ア. 葉酸サプリメント配布事業

・婚姻届または妊娠届提出時に、希望する女性に葉酸サプリメントを配布。 (R3:婚姻届時希望者53人 妊娠届時希望者 783人、R4:婚姻届時希望者41人 妊娠届 時希望者794人、R5:婚姻届時希望者32人 妊娠届時希望者428人)

これまでの 実施状況

イ. 妊婦健康サポート事業

•妊婦へ旬の地元食材を配送。(申請 R3:833件、R4:821件、R5:439件)

ウ. 子どもの誕生・成長サポート事業

- ・出生時に幸せ枡・地元食材を配送。(R3:777件、R4:758件、R5:444件)
- ・第3子以降の出生時、小学校、中学校入学前に市内共通商品券を交付。(R3:435件、R4:477人、R5:14人)

エ. 森の豊かな贈り物事業

・1歳6か月健診時、希望者へ木製玩具(積み木)を贈呈。(贈呈人数 R3:846人、 R4:838人、R5:456人)

オ. 新入学児童用かばんの贈呈

・令和5年度、令和6年度新入学児童へ市独自の新入学児童用かばんを贈呈。

③子育て世代へのサポート体制

・「子育て応援室まんまるほうふ」や「ファミリーサポートセンター」による親子へのサポートを実施。

①子どもの健やかな成長のための切れ目ない支援

・事業を継続するとともに、活動を支える人材を育成することにより、体制を充実させる。

②ほうふっ子応援パッケージ

・内容の充実を図りながら、引き続き実施。

R6年度 以降の取組

・令和6年10月から、中学生・高校生の医療費の無償化を予定。

③子育て世代へのサポート体制

- 様々な角度から子育て世代をサポートできるようにサポート体制を充実させる。
- ・「子育て応援室まんまるほうふ」と「子ども家庭総合支援拠点」を統合し、 「こども家庭センター」を設置。

2 未来を拓く子どもの育成

本冊33~35頁

[2]教育のまち日本一の学びづくり

- 将来のデジタル社会を見据えた教育を行います。
- 2 地域の教育資源を活かした防府独自の学びを実施します。

体系

- 3 安全で良好な学習環境を整備します。
- **⑤** 防府の仕事を知り、将来を考える機会をつくります。
- ⑥ 防府のまちの豊かな歴史文化を学び、受け継ぐ取組を支援します。

①デジタル社会を見据えた教育

・児童や生徒1人1台端末のICT環境を活かした教育の推進により 『つながる・広がる・深まる「防府スタイル」の学び』を実施する。



当初スケジュール

項目	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8		
ICT環境を活かした教育の推進		牧職員のスキルアップ つながる・広がる・深まる「防府スタイル」の学びの実践						
現在のスケジュール								
項目	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8		
	教職員のスキル							
ICT環境を活かした教育の推進	つながる・広が	がる・深まる「阝	方府スタイル」0)学びの実践				

②地域の教育資源を活かした防府独自の学び

・防府市独自の学びにより、子ども・学校・地域の結びつきを強める。

③安全で良好な学習環境の整備

主な 事業内容 ・<u>少人数学級化を見据えた長寿命化工事</u>や、防災機能を強化するための照明器具落下 防止工事などの**耐震改修**を行う。

当初スケジュール



④修学支援制度の整備

・意欲、能力のある学生が学習機会を確保できるよう、ニーズに応じた<u>奨学資金貸付制度を</u> 拡充する。

⑤子どもたちへの防府の企業の魅力発信

・子どもたちが**防府の仕事を知り、将来を考える**機会をつくる。

⑥無形民俗文化財の継承支援

•「継承されてきた<u>無形民俗文化財</u>を<u>地域や学校と協力して未来へつなぐ</u>ための取組」を 支援する。

当初スケジュール

主な 事業内容



現在のスケジュール

項目	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
無形民俗文化財の継承支援	制度構築	1	実施☞検	ī.		

①デジタル社会を見据えた教育

・教職員や専門家で構成された「チームDASH」による支援。

②地域の教育資源を活かした防府独自の学び

- ・「防府カップ」を開催。
- ・「ほうふGENKIコンサート」を開催。(R3.7.4、R4.6.11、R5. 7.1(大雨のため中止))
- •「ほうふみらい塾」を開催。(R3:25人、R4:15人、R5:37人参加)

③安全で良好な学習環境の整備

- •防府市学校施設長寿命化計画の策定。
- ·桑山中学校北校舎長寿命化改良工事完了(R5.11)。

これまでの 実施状況

- ・華浦小学校校舎、佐波中学校屋内運動場の長寿命化改良工事を実施中。
- |・国府中学校校舎の長寿命化改修工事の調査・設計を実施。

④修学支援制度の整備

- ・拡充した奨学金制度による貸付の実施。(R3~5、35名)
- ・新成人(18歳)を対象にチラシを配布。

⑤子どもたちへの防府の企業の魅力発信

- •「やまぐち未来のしごとフェスタ」に市内の中学生が参加。(R3:934人、R4:853人、R5:709人)
- ・若者向け市内企業等情報掲載サイト「Hofull」を運営。

⑥無形民俗文化財の継承支援

•補助金を交付。(R3:9件、R4:11件)

①デジタル社会を見据えた教育

・引き続き調査・研究を行い、その結果をもとに拡充に努めていく。

②地域の教育資源を活かした防府独自の学び

・引き続き防府独自の学びを実施。

③安全で良好な学習環境の整備

- •引き続き長寿命化計画に基づいた工事を実施。
- ・小中学校の和式トイレの洋式化改修の実施。

R6年度 以降の取組

④修学支援制度の整備

・拡充した奨学金制度の周知に努めるとともに、必要に応じて制度の見直しを図る。

⑤子どもたちへの防府の企業の魅力発信

- ・イベント等を通して企業の魅力を発信していく。
- ・青少年科学館ソラールで、企業の協力により、優れた技術を体験できる展示をすることで、 キャリア教育を進める。

⑥無形民俗文化財の継承支援

・無形民俗文化財の継承に取り組む団体を支援。

2 未来を拓く子どもの育成

本冊36頁

体系

[3]子どもを守る安全・安心対策の推進

- ① 子どもの交通安全対策を進めます。
- 2 子どもが安心できる防犯対策を進めます。
- 3 放課後の子どもの居場所を確保します。

①子どもの交通安全対策

- ・子どもの交通安全を確保するため、ドライバーに注意を促す<u>キッズゾーン・スクール</u> ゾーンを整備する。
- ・幼児交通安全クラブや交通安全教室を年間を通して実施する。







幼児交通安全クラブ

当初スケジュール

項目	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
ナ…ブバースなどの軟件	検証・現地協					
キッズゾーンなどの整備 	必要な箇所へ					

主な 事業内容

現在のスケジュール



②子どもが安心できる防犯対策

・登下校時の安全確保のため、小学1年生への<u>防犯ブザー配布、防犯灯・街路灯の</u> 整備を行う。

③放課後の子どもの居場所確保

・放課後に保育が必要な小学3年生までの児童を確実に <u>放課後児童クラブ</u>で受け入れる。

放課後児童クラブ

①子どもの交通安全対策

- ・キッズゾーンの整備を実施。(R3:9箇所完了、R4:3箇所完了)
- ・横断歩道のカラー化を実施。(R3:204箇所完了、R4:35箇所完了)
- ・幼児交通安全クラブや交通安全教室を実施。(R5.10月末時点で167回)
- ・ヘルメット着用努力義務化に伴い、高校生のヘルメット着用率を高め安全を確保するため、 高校生ヘルメット着用促進事業を実施。(約1,300件申請)
- ・「自転車のまち"ほうふ"」として、安全な自転車利用を促進する"佐波川サイクルフェスタ"を新たに開催。

これまでの 実施状況

②子どもが安心できる防犯対策

・必要な公設防犯灯の設置の推進。

③放課後の子どもの居場所確保

・松崎第3留守家庭児童学級の開設及び新田第3留守家庭児童学級の建設。

①子どもの交通安全対策

- ・キッズゾーン、スクールゾーンについて、路肩整備や横断歩道のカラー化を引き続き実施。
- ・幼児交通安全クラブや交通安全教室を引き続き実施。

R6年度 以降の取組

②子どもが安心できる防犯対策

・必要な公設防犯灯の設置や維持管理を行う。

③放課後の子どもの居場所確保

・小学3年生までの児童の受け入れが確実に行えるよう、取り組みを継続。

3 健やかな暮らしを支える福祉のまちづくり

本冊37, <u>38頁</u>

[1]誰もが安心して暮らせる健康福祉の充実

- 明るく元気な毎日を送るための健康づくりを促進します。
- ❷ 誰もが明るく楽しく暮らせる介護サービスを充実します。
- 3 福祉施設の整備や福祉全般に関する相談体制を構築します。
- 4 地域で支え合い、助け合う取組を応援します。

①健康づくりの促進

- •「健康づくり推進のつどい」などにより、健康づくりや食育の 大切さについて啓発する。
- ・市民の健康と命を守るため、<u>がん検診・特定健診の受診率</u> 向上を図る。



②介護サービスの充実

「令和5年度健康づくり推進のつどい」の 様子

- ・要支援認定者等の心身の状態の改善のため、専門職による短期集中的な指導を行う。
- ・高齢者の介護リスクを軽減する運動を行う「元気アップくらぶ」の開催を支援する。

③福祉施設の整備及び福祉相談体制の構築

- ・新庁舎へ福祉分野の総合相談窓口を設置し、利便性の向上を図る。
- ・認知症等の精神上の障害がある人たちを社会全体で支えあうため、地域連携ネットワークの核となる「防府市成年後見センター」を設置し、成年後見制度利用の支援体制を促進する。

主な 事業内容

体系

当初スケジュール

項目	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
【再掲】						
障害者福祉施設の防災対策	研究 🖝	調査 🖝 候補	地選定 🖝 基	盤整備	設計	
(大平園・愛光園・なかよし園)						
【再掲】	=n=L	工事	фZ			
宮市福祉センターの耐震化	設計	工事	完了			
防府市成年後見センターの設置	設置		周知 ┏	活用		

現在のスケジュール



④地域共生社会の実現

- ・新たに制定する<u>手話言語等に関する条例</u>に基づき、手話言語や障害のある人の コミュニケーション支援に対する理解を促進する。
- ・「子ども食堂」の普及啓発に取り組む。

当初スケジュール

項目	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
手話言語等に関する条例	検討・制定	普及	と・啓発、人材育	。 就、意思疎通支	援	
現在のスケジュール						
項目	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
手話言語等に関する条例	検討・制定	普及	及・啓発、人材育	育成、意思疎通支	泛援	

①健康づくりの促進

- ・健やかほうふ21計画(第二次)推進委員等の協力のもと、「健康づくり推進のつどい」を実施。 (R3.8、R5.8)
- ・総合がん検診の土曜日実施日数を増やした。
- ・民間企業と連携し受診啓発チラシを配布。

②介護サービスの充実

- ・短期集中予防型サービスを終了した418人のうち、223人が通所・訪問サービスを利用せず、 自立した生活をしている。(R5.3月末時点)
- ・「元気アップくらぶ」を西浦、中関、新田、勝間、華城、華浦、右田、佐波、玉祖、小野の10地区で開催。(R5.10月末時点)

③福祉施設の整備及び福祉相談体制の構築

・令和3年4月に社会福祉協議会内に防府市成年後見センターを設置。

これまでの 実施状況

【再掲】宮市福祉センターの耐震化(P4)

・令和4年度に耐震化工事及び照明のLED化を実施。

【再掲】障害者福祉施設の防災対策(P4)

- ・庁内検討委員会により、大平園・愛光園・なかよし園の建設候補地を現在地に決定。
- ・令和5年度は現在地での建替えに向け、基本計画策定業務に着手。

④地域共生社会の実現

- ・令和4年4月より、コミュニケーション条例を施行。
- •コミュニケーション条例リーフレットの作成や条例制定記念講演を実施。
- 簡易筆談器を各避難所に設置。
- ・音声表示システムを窓口に設置。
- ・市内の子ども食堂は12箇所で運営中。

①健康づくりの促進

- |・次回開催の「健康づくり推進のつどい」での内容の充実。
- ・がん検診・特定健診の受診率向上に向けた実施方法の改善。

②介護サービスの充実

- ・要支援認定者等への介護予防サービスの向上。
- ・「元気アップくらぶ」を現在の10箇所から16箇所の開催を目指す。

③福祉施設の整備及び福祉相談体制の構築

- ・新庁舎への福祉分野の総合相談窓口設置について、効果的な窓口とするために検討。
- ┃・防府市成年後見センターによる成年後見人制度の普及・啓発。

R6年度 以降の取組

【再掲】障害者福祉施設の防災対策(P4)

・基本計画の策定、設計等を進める。

④地域共生社会の実現

- ・障害の特性に応じたコミュニケーション手段の周知や手話奉仕員等のコミュニケーション支援者の確保、育成。
- ・「防府市こども食堂ネットワーク協議会」を支援。

3 健やかな暮らしを支える福祉のまちづくり

本冊38, 39頁

[2]住み慣れた地域で暮らし続けるための環境整備

体系

- 公民館の機能を強化します。
- 2 地域の移動手段としての交通サービスを守ります。
- ❸自治会による地域の活動を支援します。

①公民館の機能強化

・各公民館と市役所窓口をオンラインで結ぶことで、公民館の窓口機能を充実させる。



- ・地域の困りごとの相談ができる!
- ・補助、助成制度の申込みができる!

当初スケジュール

項目	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
相談窓口機能 地域情報発信 地域活動の支援		組織強化 🖝	モデル実施 🖝	拡大		

現在のスケジュール



主な 事業内容

②地域交通サービスの確保

・路線バスの再編や、高齢者等の交通弱者対策も含めた交通サービスの検討など、 地域の移動手段としての交通サービスを維持する。









鉄道

路線バス

タクシー

離島航路

当初スケジュール

項目	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8		
バス路線の再編	詳細調査・交通事業者との調整など・再編 (路線ごとに順次実施)							
地域の実情に応じた交通サービスの検討	調査	査・検討(公共 交	逐通サービスの 検	討と併せて実施	<u>i</u>)			

項目	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
バス路線の再編	詳		自事業者との記 ごとに順	周整など・再 次 実 施)	編	
	調査	₹・検討(公共3	を通サービスの村	検討と併せて実施	<u>i</u>)	
地域の実情に応じた交通サービスの検討				現計画延長 地域公共交通		次期計画開始

①公民館の機能強化

- ・県事業「シビックテックチャレンジYAMAGUCHI」を活用し、タブレット端末の利便性向上のための実証実験を実施。
- ・遠隔相談システム及びキャッシュレス決済をモデル3館(富海・小野・大道公民館)に導入。
- ・公民館にフリーWi-Fiを整備。

②地域交通サービスの確保

- ・バス及びタクシー事業者へ、交通系ICカードの導入を支援。
- これまでの・地域の実情に合わせた交通サービスのあり方について、地域等関係者と協議を実施。
 - ・路線バスの利用状況調査結果に基づき、交通事業者等関係者と協議を実施。
 - ・タクシーの運行が少ない夜間、早朝の時間帯にタクシーが利用できる体制を整えるため、夜間タクシーの実証運行を実施。
 - ・交通系ICカードの普及拡大を目指し、カード決済によるタクシー運賃の割引を実施。
 - ・バス、タクシー等運輸業の運転士確保対策として、運転士の新規雇用に対する補助を実施。
 - ・バス、タクシー運転士の確保対策に重点的に取り組むため、「地域公共交通網形成計画」を延長。

①公民館の機能強化

- ・公民館のあり方について、法定外公共物の管理に係るモデル事業を実施する中で、公民館 を拠点とした地域課題の解決に取り組む。
- ・遠隔相談システム及びキャッシュレス決済について、モデル3館のみならず、他の出張所への導入や拡充を検討する。

R6年度 以降の取組

実施状況

②地域交通サービスの確保

- ・バス、タクシー運転士の確保対策の実施。
- ・バス停等の待合環境向上に向けた取組の実施。
- ・夜間タクシーの実証運行を踏まえた運行の実施。
- ・「地域公共交通計画」の策定に向けた調査等の実施。

26

3 健やかな暮らしを支える福祉のまちづくり

本冊39頁

[3]誰もがいきいきと活躍できる場づくり

- む 市民の文化・スポーツ活動への参加を促進します。
- 体系
- 2 市民等と協働して地域の課題解決に取り組みます。
- 3 男女共同参画を促進します。
- 4 農福連携に取り組みます。

だれもがいきいきと活躍できる場の創出

①「市民文化祭」や「ほうふスポーツフェスタ」などを開催し、 幅広い世代の方や障害のある人などが<u>文化・スポーツに</u> <u>触れる機会を充実</u>させる。



市民文化祭

- ②「防府市協働事業提案制度」や防府市市民活動支援センターを活用し、<u>市民等と</u> 協働して地域の課題解決に取り組む。
- ③「防府市男女共同参画推進計画」に基づき、<u>誰もが能力を発揮して活躍できる社会の</u> 実現を図る。
- ④ 障害のある人や高齢者の活躍の場を広げる「農福連携」を促進する。

主な 事業内容



①文化・スポーツ活動への参加促進

- 防府市民文化祭を毎年開催。
- ・ほうふスポーツフェスタを開催。(R3.11.7、R4.10.16、R5.10.15)

②市民等との協働による地域課題の解決

・市民活動支援センターを通じて、講座等の市民活動の促進等により地域課題の解決に取り組んだ。

③男女共同参画社会の促進

これまでの 実施状況

- ・第6次防府市男女共同参画推進計画を策定。
- 男女共同参画啓発講座等を開催。
- ・第1子妊娠中の妊婦とパートナーを対象に、夫婦で育児について学ぶための両親学 級を年4回開催。

④農福連携の推進

- ・令和3年10月から愛光園と花木センターによるモデル事業を実施。
- ・令和5年度からの農福連携防府モデルの開始に向けて検討会議にて協議。
- ・令和5年度から「防府市農福連携促進事業」を実施。

①文化・スポーツ活動への参加促進

・引き続き「市民文化祭」、「ほうふスポーツフェスタ」をはじめとした、文化・スポーツのイベントを開催。

②市民等との協働による地域課題の解決

・市民団体の活動の支援及び育成を行うとともに、協働事業提案制度を活用して地域課題の解決に取り組む。

R6年度 以降の取組

③男女共同参画社会の促進

・第6次防府市男女共同参画推進計画に基いた啓発活動の実施。

④農福連携の推進

・引き続き「防府市農福連携促進事業」を実施。

3 健やかな暮らしを支える福祉のまちづくり

本冊40頁

[4]環境に配慮した取組の推進

体系

- 地球温暖化対策に取り組みます。
- 2 自然エネルギーの活用と省エネルギー化を進めます。
- ❸ 環境に対する意識を高めます。

①地球温暖化対策

- ・「CO2削減ほうふ市民運動」を実施し、CO2削減を促進する。
- ・ごみ分別アプリなどを活用し、適正な分別方法の普及啓発を行う。

CO2削減ほうふ市民運動の取組



カーボンニュートラルの取組を体系化

CO₂削減ほうふ市民運動 〜みんなで実現!ほうふのカーボンニュートラル!〜 として実施

主な 事業内容

②自然エネルギーの活用と省エネルギー化

・クリーンセンターにおいて、<u>先進的な廃棄物発電によるエネルギー回収</u>を進める。

③環境保全意識の向上

- ・SDGsを踏まえた小学生向け環境副読本の配布や、「カーボンニュートラル」の啓発により、環境教育を推進する。
- ・市民向けの環境学習講座を開催することで、環境問題への関心・理解を深め、解決を図る。



環境副読本を活用した教育

当初スケジュール

~みんなで実現!

ほうふのカーボンボニュートラル!~

項目	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
ほうふCO2削減キャンペーン			実施 ☞ 検証			
現在のスケジュール						
現在のスケジュール 項 目	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8

市有施設照明のLED化・太陽光発電設備の設置

温室効果ガスの吸収・排出削減

①地球温暖化対策

- ・ごみ分別アプリによりごみ減量化や再資源化を推進中。
- ・節エネ情報誌の全戸配布、CO₂削減ほうふ市民運動賛同事業所の募集、防府市役所環境保全率先実行計画の推進など、CO₂削減ほうふ市民運動を展開中。
- ・全小中学校において「エコの日」を定め、学校給食の牛乳パックのリサイクルを実施中。
- ・バイオマスプラスチック製指定ごみ袋を導入。(R4)
- ・市広報に「ごみ減量化特集記事」、「食品ロス削減特集記事」を掲載。(R4)
- ・令和4年8月10日、「夏休み親子で楽しめるごみの減量・分別教室」を開催。
- ・ダンボールコンポスト教室の開催。(R4:クリーンセンター5回、R5:クリーンセンター5回、公民館3回)
- ・漁場の再生保全とブルーカーボン増加のための藻礁の設置。(R4、R5)
- ・エコライフ住宅推進事業。(R5 ※R4は安全・安心住まい助成事業の一部で実施)
- ・令和5年4月22日、防府市緑花祭・カーボンニュートラルチャレンジフェスタで「カーボンニュートラルシティ・チャレンジ宣言」を実施。
- ・令和5年6月10日、内容を大幅に拡充した「ほうふエコまつり」を開催。
- ・令和5年8月5・6日、佐波川流域の絆・森と水と人づくりフェアを開催。
- ・令和5年9月24日、「自転車のまち"ほうふ"」として、"佐波川サイクルフェスタ"を開催。
- ・令和5年10月28日、「2050年の森づくりプロジェクト」を開催。
- ・省エネ家電更新促進事業を実施。(R5)

これまでの 実施状況

- ・アスピラートに「カーボンニュートラルコーナー」を新設。(R5)
- ・聞いて得するふるさと講座「ごみの減量化、リサイクルについて」を開催。(R5)
- ・ほうふほっとラインにて、ごみの分別方法やリサイクル施設を紹介。(R5)

②自然エネルギーの活用と省エネルギー化

- クリーンセンターにおいて、高効率な廃棄物発電によりエネルギー回収を実施。
- ・市有施設照明のLED化
 - (R4)【再掲】宮市福祉センター(P4)、防府地域職業訓練センター実習棟 など
 - (R5)ファミリーサポートセンター、防府市中高年齢労働者福祉センター(サンライフ防府)、 野球場、駅周辺の街路灯 など
- •市有施設への太陽光発電設備設置のための設計を委託中。

③環境保全意識の向上

- ・令和5年10月23日、防府市の環境関連コンテストを統合した「ほうふグリーンアワード2023」を開催。市民の環境保全意識を醸成。
- •環境問題啓発のための「環境学習講座」を実施。令和5年度は新たに専門機関と連携し、 地球温暖化防止に特化した出前授業を実施。
- ・「防府市環境副読本」を市内の全小学5年生を対象に約1,000部配布。

①地球温暖化対策

- ・市民や事業者への意識啓発につながる効果的な事業を展開し、CO2削減ほうふ市民運動 を拡大。
- ・ごみ分別アプリにより、ごみ減量化や再資源化を推進。
- •イベントや市広報等を通して、ごみ減量化を啓発。
- ・プラスチックごみの市内全域での一括回収に向けた事業計画の策定。

②自然エネルギーの活用と省エネルギー化

・市有施設の照明のLED化を推進するほか、設置可能な施設へ太陽光発電設備を導入。

R6年度 以降の取組

③環境保全意識の向上

- |・ソラールと連携し、未就学児や小学生向けの環境講座を実施。
- ・環境副読本配布用データ作成。

4 活力ある中心市街地の形成

本冊41, 42頁

体系

[1]民間活力を引き出す防府駅周辺の整備推進

- 「まちなか」の道路を整備し、中心市街地の活性化につなげます。
- ② JR防府駅北の公有地へ民間活力を導入します。
- ❸ 駅周辺の公共施設を改修し、魅力と利便性を向上させます。

民間活力を引き出す防府駅周辺の整備推進

①中心市街地の活性化

- ・中心市街地の防災力強化と周辺土地の利活用につながる**市道栄町藤本町線を整備**する。
- ・にぎわい空間の再生に向けた商店街アーケードなどの整備方針を検討。

②駅北公有地への民間活力導入

主な 事業内容

・JR防府駅北の公有地について、周辺道路を整備し、<u>民間活力による有効な活用</u>を図るため売却する。

③駅周辺公共施設の改修

- ・アスピラートやルルサス防府の一体的な整備により、魅力と利便性を向上させる。
- ・**駅周辺の駐車場料金を一本化**し、回遊性やサービスの向上を図る。
- ・デザインプラザHOFUに<u>創業支援の拠点を整備</u>する。
- ・新庁舎建設に伴う公共施設の再編により空き地となる文化福祉会館跡地を、 市街地の防災拠点として整備。

当初スケジュール

項目	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
①【再掲】市道栄町藤本町線の整備	J	用地取得 ・工事		供用開始		
②駅北公有地への民間活力導入	民間活力導入検 委員会による検	討 討 - 売却				
	道路整備計画	道路工事				L
③市民ギャラリーの設置、		W =1 ==		ь х ж ш		
にぎわいの場の創出(アスピラート)		検訶・丄事・	文化団体などに	よる沽用		
③文化福祉会館の一部機能移転 (ルルサス防府)	工事	移転・運用				
③駅周辺駐車場の利用料金の一本化		検討 ☞	(検討結果の実	施)		
③【再掲】文化福祉会館解体後の跡地 への防災広場の整備	調	查	設	計・測量 🕶 工事		>

主な 事業内容

項目	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
(1) 大学兴熙燕大职纳《敕伊		用地取得・工事		R5供用開始		
①【再掲】市道栄町藤本町線の整備		・北側開通				
②駅北公有地への民間活力導入	民間活力導入検記 委員会による検記		活用事業者によ	る整備工事		
	道路整備計画	道路工事		道路工事		
③市民ギャラリーの設置、 にぎわいの場の創出(アスピラート)	検討・工事	文化団体が	などによる活用			
③文化福祉会館の一部機能移転 (ルルサス文化センター)	工事	市民教養講座 各種団体に。				000000000000000000000000000000000000000
③駅周辺駐車場の利用料金の	調整・工事	利用料	金の一本化・一	体利用の開始		
③【再掲】文化福祉会館解体後の跡地 への防災広場の整備		調査		設計・測量	工事	>

①中心市街地の活性化

- ・天神町銀座商店街振興組合と、アーケードの撤去やその後のまちづくりの方針について検討している。
- ・【再掲】防府駅前ルルサス北側の道路整備 (P6): 市道栄町藤本町線

(旧国道2号~ルルサス北側交差点間)

(R3)路線北側:工事に着手。

路線南側:用地測量。

(R4)路線北側:令和4年7月に供用開始。

(R5)路線南側: 令和5年度中の供用開始を予定。

②駅北公有地への民間活力導入

- ・駅北公有地を売却し、令和5年2月から工事開始。
- ・民間活力と連携した道路工事を実施。

③駅周辺公共施設の改修

•アスピラートとルルサス防府を一つのエリアとした愛称を「笑顔満開通り」に決定。

<市民ギャラリーの設置、にぎわいの場の創出>

- ・令和4年5月8日に笑顔満開通りアスピラート1階に「市民ギャラリー」がオープン。
- ・2階に大村能章の部屋がリニューアルオープン。

これまでの 実施状況

< 文化福祉会館の一部機能移転(ルルサス防府) >

・令和4年8月1日に笑顔満開通りルルサス防府1階に「ルルサス文化センター」がオープン。

<駅周辺駐車場の利用料金の一本化>

・令和4年7月30日からイオン防府店東側平面駐車場と旧市営中央町駐車場の一体利用及びサービス券の相互利用を開始。

<創業支援拠点の整備>

・令和4年11月に「創業・交流センター」をオープン。

【再掲】文化福祉会館解体後の跡地への防災広場の整備(P8)

- ・防災広場の整備に向けた調査を実施。
- 文化福祉会館解体の設計を実施中。

〈駅周辺の整備〉

- ・(R5)【再掲】駅周辺街路灯のLED化を実施中。(P30)
- ・(R5) 鉄道高架下南北自由通路開通に向けた設計を実施中。
- ・(R5)駅周辺の緑化予定。
- ・(R5) 三哲文庫記念公園の緑化予定。

①中心市街地の活性化

・引き続きアーケードの撤去やその後のまちづくりの方針について検討。

②駅北公有地への民間活力導入

- ・活用事業者による整備。(令和7年3月事業完了予定)
- マンションの建設に合わせた道路工事を実施。

R6年度

以降の取組

③駅周辺公共施設の改修

【再掲】文化福祉会館解体後の跡地への防災広場の整備(P8)

- ・平常時の活用方法や周辺道路の整備等を検討。
- 文化福祉会館の解体に着手。
- •鉄道高架下南北自由通路開通工事。

「1〕「農林業の知と技の拠点」の形成を契機とした農林業の活性化

動制ができますがある。

動力を確保・育成します。

体系

- 2 農業者の経営基盤を強化します。
- 3 農業を支える生産基盤を整備します。
- ◆
 森林を未来につなぐ取組を推進します。

①農業の担い手の確保・育成

- ・山口県「農林業の知と技の拠点」やJA山口県等と連携し、新規就農者を確保・育成する。
- ・担い手の定着に向けた農業者への総合的支援を行う。

県農業試験場や林業指導センター・農業大学校が拠点に統合し、

令和5年4月に「農林業の知と技の拠点」供用開始



②農業者の経営基盤強化

- ・ICTを活用したスマート農業の導入により、農業生産の 効率化と省力化を支援する。
- ・「農地中間管理機構」と連携して<u>農地の集積・集約化</u>を図る。

主な 事業内容





分散・錯そうした農地利用 担い手ごとに集約化

ドローンによる農薬散布の操作研修

③農業生産基盤の整備

・農地の集積による生産条件の改善と、生産効率の向上を図る**ほ場整備**を推進する。

当初スケジュール

項	目	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
農林業の知と技の	拠点の整備【県】	整備促進		供用開始予定			
	〈台道・下津令〉	整備促進	完成予定				
ほ場整備【県】	〈小野・奈美〉						
〈上右田〉							
【再掲】農道牟礼小野線の整備 【県・市】							
			供用開始予定				
						1	



①農業の担い手の確保・育成

- 令和5年4月、「農林業の知と技の拠点」供用開始。
- 新規就農者支援等本市の農業に関する情報をウェブサイトで発信。
- 首都圏での就農イベント及び県主催の就業ガイダンスに参加し相談受付。

(R3:7回12組、R4:4回10組、R5.10月末時点:4回14組)

・新たに農業経営を開始する新規就農者に対して資金を交付。

(R3:新規1組継続6組、R4:継続5組)

- 新規就業者を受け入れた農業法人等に対し、研修費を助成。
- (R3:継続2名、R4:新規2名継続2名)
- ・生産拡大に向け、集落営農法人連合体への機械導入を支援。

(R3:玉葱、R4:麦、R5:水稲等)

②農業者の経営基盤強化

これまでの 実施状況

- ・4法人に対して「コロナ対応経営強化プラン」の作成支援やスマート農機等の導入支援を実施。
- ・農業公社へ小型農業用ドローンやICT技術を活用したほ場管理システムの導入支援を実施。
- ・農地中間管理機構を活用し、ほ場整備を契機とした奈美地域の農地集積に協力金を交付。

③農業生産基盤の整備

- •台道•下津令:令和3年度完成。
- ・小野・奈美:令和10年度の完成を目指し、現在工事中。
- ・上右田:ほ場整備の実施に向け、地元で検討・議論し事業計画を進めている。

【再掲】農道牟礼小野線の整備【県】(P6):災害時の避難道ともなる農道の整備 (小野〜牟礼間の道路新設工事)

•市施工区間、県施工区間ともに、スケジュールどおり工事を実施中。

①農業の担い手の確保・育成

- ・引き続き県やJA山口県と連携して担い手の確保・育成に努める。
- 新規就農者に各種助成をすることで、経済的負担を軽減し農業経営の早期安定を図る。

|②農業者の経営基盤強化

- ・農業者の新技術の導入などを支援し、経営の安定を図る。
- ・農地中間管理機構を利用した農地の集積・集約化の促進。

R6年度

以降の取組

③農業生産基盤の整備

- ・小野・奈美:令和10年度の完成を目指し、工事を実施。
- ・上右田:令和8年度の事業開始に向け、事業計画を進める。

【再掲】農道牟礼小野線の整備【県】(P6):災害時の避難道ともなる農道の整備 (小野〜牟礼間の道路新設工事)

市施工区間:令和7年度の供用開始に向け工事を実施。

県施工区間:スケジュールに沿った工事を実施。

強みを活かした産業力の強化

本冊45頁

[2]せとうちの地魚と潮彩市場防府を活かした水産業の振興

体系

- 持続可能な漁業生産体制を整備します。
- ❷ 潮彩市場防府を中心とした水産市場エリアのにぎわいを創出します。

①持続可能な漁業生産体制の整備

・山口県漁協などと連携した新規漁業就業者の確保や自立化への総合的な支援を行う。

新規就業者の研修





②潮彩市場防府を中心とした水産市場エリアのにぎわいの創出





相乗効果による集客アップ

主な 事業内容

- ・施設の衛生化をはじめとする機能強化により、**潮彩市場防府の魅力向上**を図る。
- ・潮彩市場防府やメバル公園の集客力を活かした魚食普及イベントを実施する。
- ・水産市場と連携し、ハモなどの地魚の消費拡大を促進する。

当初スケジュール



①持続可能な漁業生産体制の整備

- ・新規就業を希望する研修生に対して補助金を交付(国制度対象)。
- (R3:新規2人、R4:継続2人、R5:継続2人)
- ・新規就業を希望する研修生に対して補助金を交付(国制度対象外)。
- (R3:新規1人、R4:0人、R5:0人)
- ・新規就業を希望する研修生に対して家賃補助を行った。(R3:新規1人、R4:新規1人、継続1 人、R5:継続2人)
- ・新規就業者に対して補助金を交付。(R3:新規2人、継続4人、R4:継続5人、R5:継続2人) 【再掲】地球温暖化対策(P30)
- ・漁場の再生保全とブルーカーボン増加のための藻礁の設置。

これまでの

|②潮彩市場防府を中心とした水産市場エリアのにぎわい創出

実施状況

- 潮彩市場防府の施設改修等を実施。
- (R3:空調設備の更新、駐車場の一部の舗装工事を実施 R4:空調設備の更新、外壁改修工 事、駐車場舗装及び区画線引直しの工事を実施 R5:空調設備更新、防犯カメラ更新、メバル 公園のロゴマークを活用したシンボルマーク、案内板、道路標識の整備)
- ・県漁協に業務委託し、ハモを学校給食に提供。(R3:ハモフライ R4~:ハモのギョロッケ)
- ・魚食普及のため、令和3年7月から指定管理者によるお魚教室を実施。
- ・令和4年度、山口県漁協の直営店を潮彩市場防府に開設しオリジナル商品等を販売。
- ・令和4年度、県漁協が防府地方卸売市場を再整備。
- ・令和4年度、コミュニティ助成事業を活用し、潮彩市場防府の隣接地にある港湾緑地へインク ルーシブ游具を整備。
- ・令和5年度、新たなスイーツ「メバル焼き」を販売。

①持続可能な漁業生産体制の整備

- ・引き続き新規漁業就業者の研修から就業・定着まで一貫して支援。
- ・漁場の再生保全とブルーカーボン増加のための藻礁の設置。

以降の取組

②潮彩市場防府を中心とした水産市場エリアのにぎわい創出

- ・潮彩市場防府の空調設備の更新、防犯カメラ改修工事を実施。
- ・防府市産のハモの学校給食への提供やハモのPRを継続。

R6年度

5 強みを活かした産業力の強化

本冊46頁

[3]中小企業の振興と防府で働く人たちの応援

体系

- ◆ さまざまな創業支援をパッケージ化した「防府市創業支援モデル」を構築します
- 2 防府ブランドの売り込みを強化します。
- 3 女性や高齢者などの就業を支援します。

①防府市創業支援モデルの構築

・様々な創業支援をパッケージ化した「**防府市創業支援モデル**」を構築し、防府商工会議所、中小企業サポートセンター(コネクト22)、金融機関などと一体となって創業を支援する。





当初スケジュール



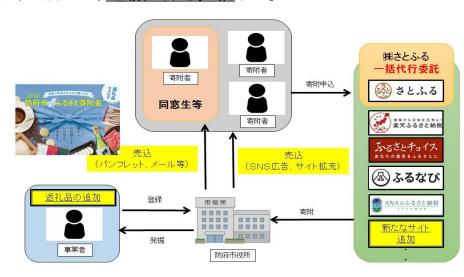
主な 事業内容

現在のスケジュール



②防府ブランドの売り込み強化

・ふるさと納税等を活用し、地場産品を発信する。



当初スケジュール





現在のスケジュール

主な 事業内容

項目	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
ふるさと納税の利用拡大	魅力的な返	礼品の倍増				
3		情報発信	言・売り込み強	化		

③女性や高齢者の就業支援

・結婚・出産を機に離職した**女性の再就職や、**就労意欲の高い**高齢者の就労を支援**する。

①防府市創業支援モデルの構築

・令和3・4年度から創業塾を2回開催。また「創業準備補助金」と「ふるさと起業家支援補助金」 等による創業者への支援を実施。

【再掲】創業支援拠点の整備(P32)

・令和4年11月に「創業・交流センター」をオープン。

②防府ブランドの売り込み強化

・令和3年度は、ふるさと納税ポータルサイト「楽天ふるさと納税」「さとふる」を追加、令和4年度は、「ふるなび」を追加、令和5年度は、「ANAふるさと納税」を追加し情報発信を強化。

これまでの 実施状況

・令和4年度から、防府読売マラソンにふるさと納税枠を追加。

③女性や高齢者の就業支援

- ・令和3年度に、「ほうふしごと応援事業」として、求職者向けセミナーを1回、企業向けセミナーを2回実施。「女性のキャリア形成支援事業」として、女性の再就職支援セミナーを1回実施。また、シニア向けのセミナーを年度内に実施。
- ・令和4年度に、ルルサス文化センターで週2回、事前予約制にて就職相談窓口を開設。
- デジタル技術習得講座を実施し、基礎的なデジタル技術の習得、女性の就職を支援。

①防府市創業支援モデルの構築

|・「創業・交流センター」にて関係機関と連携して創業を支援。

②防府ブランドの売り込み強化

R6年度 以降の取組

・魅力的な返礼品の充実とポータルサイトの追加等による情報発信の強化を行い、地場産品の売り込みを支援。

③女性や高齢者の就業支援

・引き続き就職相談窓口等において、求職者が希望する就職先に就けるよう支援を継続。

[4]強みを伸ばす産業基盤の強化

体系

- 2 重要港湾三田尻中関港の整備を促進します。
- ❸ 山口県をけん引する企業を誘致するための環境を整備します。

①重要港湾三田尻中関港の整備

【中関地区】中関コンテナヤードの整備・充実、中関3号岸壁の延長などを促進する。 【三田尻地区】港周辺の<u>防災緑地の整備</u>を促進する。

②企業誘致のための環境整備

・市道四ノ桝三ノ桝線、中関三ノ桝線の整備など、「<u>防府第二テクノタウン」の周辺環境を</u> 整える。



主な 事業内容



当初スケジュール (中関地区)



現在のスケジュール(中関地区)



主な 事業内容

当初スケジュール (三田尻地区)

項目	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
防災緑地の整備【県】			促進		完成予定	



現在のスケジュール(三田尻地区)

項目		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
	【県】			促進		完成予定	
防災緑地の整備【県】			・インタ	アルーシブ遊具	の設置(市)		

①重要港湾三田尻中関港の整備

- ・中関コンテナヤードの整備については、県による整備工事を実施中。
- ・中関3号岸壁の延長など、事業化に向け国へ要望。
- |・三田尻地区の防災緑地の整備などについて、令和6年度中の完了を目指し県へ要望。

【再掲】潮彩市場防府を中心とした水産市場エリアのにぎわい創出(P36)

これまでの 実施状況

- ・令和4年度に、コミュニティ助成事業を活用し、潮彩市場防府の隣接地にある港湾緑地へインクルーシブ遊具を整備。
- ・令和5年7月9日、メバルの森オープン。

②企業誘致のための環境整備

・市道中関三ノ桝線(主要地方道防府環状線から市道四ノ桝三ノ桝線に抜ける南北の道路)は令和4年7月に供用開始し、現在は市道四ノ桝三ノ桝線の橋りょう下部工事を実施中。

①重要港湾三田尻中関港の整備

・中関3号岸壁の延長などについて、事業化に向け引き続き国へ要望。

R6年度 <u>以降</u>の取組

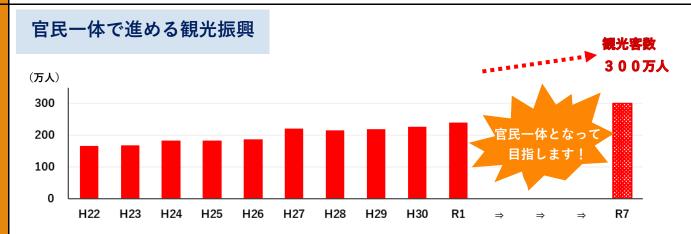
②企業誘致のための環境整備

- ▶・市道四ノ桝三ノ桝線の令和8年度完成を目指し工事を実施。
- ・台道の国道2号沿いへ、防府初の内陸型の産業団地を整備するための調査を実施。

[1]官民一体で進める観光振興

体系

- █ 防府観光コンベンション協会などと一体となって、観光客数300万人を目指します。
- 2 豊かな自然を活かした防府らしいツーリズムを創出します。
- 3 おもてなし環境を充実します。



①防府天満宮をはじめとした本市が誇る歴史ある「**すごいな!すごいぞ!防府」**の4つの観光拠点を、JALや防府観光コンベンション協会などと協力して売り込む。



一体となって

売り込む

il with

防府が誇る「すごいな!すごいぞ!防府」4つの観光拠点

防府観光コンベンション協会と JALとの連携協定

②既存メディアやインターネット時代に適応した動画、SNSなどによる<u>情報発信を強化</u>する。

主な 事業内容

- ③ <u>防府おどり</u>をはじめとした、春夏秋冬に合わせた「幸せますフェスタ」などの多彩なイベントを実施する。
- ④毛利元就公没後450年など、歴史的節目を活かしたイベントを実施する。
- ⑤県央部7市町が一体となって行う「山口ゆめ回廊博覧会」を契機に、広域観光の取組を進める。
- ⑥**まちの駅「うめてらす」**や山頭火ふるさと館を活かして、周辺地域の観光魅力度を向上する。
- ⑦大平山や右田ヶ岳での登山、佐波川自転車道でのサイクリング、富海海水浴場での マリンレジャーなど、自然を活かした**防府らしいツーリズム**を創出する。
- ⑧観光ボランティアガイドなどの「おもてなし人材」育成、主要な観光施設のWi-Fi環境整備、 観光看板の更新など、おもてなしのための環境を充実させる。

当初スケジュール (現在のスケジュール)

項目	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
②情報発信の強化	テレビ、新聞、 旅行会社などへ	動画、SNSなどり の売り込み強化	こよる積極的な観光	光情報の発信		
③防府おどりの充実	市民総参加で盛	り上がるためのさ	まざまな取組の実施			
⑥山頭火ふるさと館の魅力向上	ソフト事業の充	実、情報発信の強化	化、案内板の整備、	施設改修など		
⑧おもてなし環境の整備		」育成に向けた研 実、休憩施設・観)		施		

①JAL等と一体となった旅行商品の開発

- ・防府観光コンベンション協会とJALが連携し、東京発防府泊の1泊2日防府満喫ツアーの旅行商品を造成。
- ・令和6年秋からトワイライトエクスプレス瑞風の新たな立ち寄り観光地に決定。

②情報発信の強化

- ・防府観光コンベンション協会のポータルサイトやSNS・YouTubeでの観光動画を発信。
- ・防府市観光情報ポータルサイト「たびたびほうふ」をリニューアル。

③「幸せますフェスタ」などの多彩なイベントの実施

- •夏の幸せますフェスタ 防府おどりを開催。(R4, R5)
- •「すごいぞ!防府秋の大イベント」を開催。(R3~R5)

④歴史的な節目を活かしたイベントの実施

- ・毛利敬親公没後150年、毛利元就公没後450年の企画展のPRを実施。(R3)
- ・重源上人生誕900年イベントを実施。(R3)
- ・種田山頭火生誕140年を記念した特別企画展を開催。(R4)
- ・毛利元就郡山入城500年イベントを実施。(R5)

⑤山口県央連携都市圏域による広域観光の推進

これまでの 実施状況

- ・山口県央連携都市圏域7市町で「山口ゆめ回廊博覧会」を開催。(R3)
- ・JAF中国が主催するドライブスタンプラリーに「山口ゆめ回廊ナナシマチコース」として参画。(R3~R5)

⑥天満宮周辺エリアの観光魅力度の更なる向上

- ・うめてらすの屋外階段に山頭火ふるさと館への案内を掲示。(R3)
- ・山頭火ふるさと館に駄菓子コーナーを設置。(R3)
- ・うめてらす周辺に誘導案内板を整備。(R3)
- ・山頭火ふるさと館東側に新たに門柱を設置。(R4)
- ・観光看板の更新。(R5)

⑦自然に着目したニューツーリズムの創出

- ・右田ヶ岳登山道付近に整備した駐車場の活用を促し、気軽に楽しめる「まちなか登山」のPRを実施。(R3)
- ・山口県立大学と協働で離島体験イベントを実施。(R3、R4)
- ・防府観光コンベンション協会と野島海運が連携し、「レインボーのしま」を活用した周南工場夜景モニタークルーズを実施。(R4)

⑧おもてなし環境の充実

- ・観光ボランティアガイドの募集や研修会を実施。庭園ガイドを活用。(R5)
- ・市内中心部の市道にかかる観光看板のうち、防府天満宮、周防国分寺、毛利氏庭園、阿弥陀寺の4施設の看板を「防府ならでは」の色の看板に更新。(R4)
- ・駅歓迎看板の設置。(R5)

①IAL等と一体となった旅行商品の開発

- ・JALや防府観光コンベンション協会と連携し、本市への誘客につながる旅行商品を開発。
- ・トワイライトエクスプレス瑞風の受け入れに伴う防府駅及び毛利氏庭園周辺の環境整備等。

②情報発信の強化

・動画やSNSなどインターネット時代に適応した観光情報発信を強化。

③「幸せますフェスタ」などの多彩なイベントの実施

・春夏秋冬に合わせた「幸せますフェスタ」などの多彩なイベントを実施。

④歴史的な節目を活かしたイベントの実施

・歴史的節目などを活かしたイベント等を、関係機関と連携しながら実施。

R6年度 以降の取組

⑤山口県央連携都市圏域による広域観光の推進

・山口県央連携都市圏域において、イベントの企画・実施。

⑥天満宮エリアの観光魅力度の更なる向上

・防府観光コンベンション協会やうめてらす、山頭火ふるさと館と連携・協力し、イベント内容の工夫や必要な施設改修等の環境整備を実施。

⑦自然に着目したニューツーリズムの創出

・山・海・川の自然を活かした体験型ツアーやイベント等の創出に取り組む団体等を掘り起こし、防府観光コンベンション協会等とその取組を支援。

⑧おもてなし環境の充実

- ・研修などを計画・実施し「おもてなし人材」を育成。
- ・観光施設や観光看板を引き続き整備。

6 恵まれた資源を活かした交流拡大

本冊51~54頁

[2]文化・スポーツによる交流の推進

- 防府読売マラソン大会などスポーツの力を活用した交流を促進します。
- 2 公会堂などの文化施設を活用した交流を促進します。

体系

- |❸ 安全・安心に利用できる施設環境を整備します。
- ◆ 防府競輪場が市民に親しまれる場に生まれ変わります。

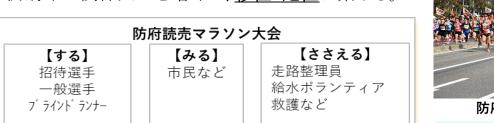
[3]防府ファンの創出・拡大

● U J I ターンを促進します。
② 本市との関係人口を増やします。

①防府ファンの創出・拡大

・<u>防府読売マラソン大会</u>や、<u>トップアスリートとの交流イベント</u>など、スポーツの力を活用した交流を促進する。

・防府市の関係人口を増やし、移住・定住に繋げる。







交流人口の拡大「防府市」を全国へ発信



佐波川ロード記録会

主な 事業内容



現在のスケジュール

当初スケジュール

項目	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
スポーツ合宿の誘致	13団体	12団体	合宿を	行う団体数の増	加	

②文化施設の活用

- ・一流音楽家が集う新春の恒例イベント「防府音楽祭」を開催する。
- ・県内有数の音響環境を誇る公会堂やアスピラートに、**魅力あるコンサートを誘致**する。







防府音楽祭



防府市公会堂

③施設環境整備

・文化・スポーツ施設の照明のLED化や <u>陸上競技場の芝生の整備</u>など、利用者が安全 かつ快適に利用できる環境を整備する。

令和6年夏 野球場オープン予定



当初スケジュール

項目	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
【再掲】市民ギャラリーの設置、にぎわいの 場の創出(アスピラート)	検討・工事	事・文化団体な	どによる活用			
【再掲】山頭火ふるさと館の魅力向上	ソフト事業の	D充実、情報発 ^企	信の強化、案内	板の整備、施	没改修など	
施設照明のLED化		人工芝多目的 グラウンド		ソルトアリーナ防府	テニスコート (向島)	
芝生の張替え(陸上競技場)		設計	工事			

現在のスケジュール

項目	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
【再掲】市民ギャラリーの設置、にぎたる場の創出(アスピラート)	検討・工事	文化団体	などによる活用			
【再掲】山頭火ふるさと館の魅力向上	ソフト事業 <i>の</i>)充実、情報発	信の強化、案内]板の整備、施	設改修など	
施設照明のLED化		人工芝多目的 グラウンド			ソルトアリーナ 防府 テニスコート (向島)	■■■■■ 武道館
スポーツ施設の整備 (陸上競技場の芝生張替え)				設計・工事	_	

4防府競輪場の整備

快適で利用しやすい施設整備



・<u>防府競輪場を市民に親しまれる場とする</u>ため、施設整備や周辺道路の環境整備を行う。

当初スケジュール

項 目	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
競輪場施設整備	メイ	ンスタンド・附	帯施設	- エ 中 中 フ ヱ	定	

現在のスケジュール

項	目	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
競輪場施設整備	メインスタンド	設言	十 解	建設	工事	和6年10月供用開	開始予定
成 # 70 110 1又 並 V用	周辺道路		設計	整備工	事令	和6年度整備完了	7予定

①防府ファンの創出・拡大

- ・第53回防府読売マラソン大会からJMC(ジャパンマラソンチャンピオンシップ)シリーズ第2期 男子グレード1及び女子グレード3に加盟。
- ・スポーツ合宿を誘致。(R3:バレー2団体、陸上11団体)(R4:バレー1団体、陸上11団体) (R5.10末時点:バレー1団体、陸上6団体)
- ・佐波川ロード記録会を開催し実業団陸上競技部の監督・ランナーが参加。
- ・防府市移住支援金による移住支援。(R3:2件、R4:1件、R5:2件)
- ・市広報を「情報ほうふ」として刷新し、ふるさと納税者等に配付。
- ・第54回防府読売マラソン大会にエントリーした選手全員に「出場記念オリジナル名刺(100枚)」を配付(裏面に防府の観光名所をデザイン)。

②文化施設の活用・施設環境整備

- ・防府音楽祭を毎年1月に開催。
- ・地域プロジェクトマネージャー(音楽のまち創造プロデューサー)の企画により、国内オーケストラトッププレイヤーによる演奏会を開催。
- ・令和3年11月に防府市公会堂で元気やまぐち創造プロジェクトアウトリーチinほうふを開催。
- ・令和4年11月に三友サルビアホールで元気やまぐち創造プロジェクト「管弦楽アンサンブルと和太鼓のコラボレーションコンサート」を開催。
- ・令和5年4月に三友サルビアホールで国内トッププレイヤーによる「防府音楽祭スプリングセミナー」を開催。

これまでの

③施設環境整備

実施状況

- ・令和4年3月1日に人工芝多目的グラウンドの夜間照明(LED)供用開始。
- ・令和5年度に野球場改修工事(スコアボード改修、外野芝張替、内野整備、照明LED化等) を実施。

【再掲】アスピラートとルルサスの一体的な整備(P32)

•アスピラートとルルサス防府を一つのエリアとした愛称を「笑顔満開通り」に決定。

<市民ギャラリーの設置、にぎわいの場の創出>

- ・令和4年5月8日に笑顔満開通りアスピラート1階に「市民ギャラリー」がオープン。
- ・アスピラート2階に大村能章の部屋がリニューアルオープン。

<文化福祉会館の一部機能移転(ルルサス防府)>

・令和4年8月1日に笑顔満開通りルルサス防府1階に「ルルサス文化センター」がオープン。

④防府競輪場の整備

- ・施設整備基本設計・実施設計の実施及び競輪場周辺道路等の整備方針を検討。
- ・令和4年度よりメインスタンド等の既存施設を解体。令和5年2月から新メインスタンドの建設に着手。
- ・周辺市道の整備について、改良工事中。
- ・防府競輪独自のインターネット番組「防府競輪研究所」を配信。
- ・ローカルメディア等を活用し、地元新人選手を紹介。
- 防府競輪夏祭りを開催。

①防府ファンの創出・拡大

- •市内で合宿を行う競技団体を増やし、トップアスリート等と市民との交流の機会を増やしていく。
- 市内企業に対し「やまぐち移住就業マッチングサイト」への登録を勧奨。
- ・第55回防府読売マラソン大会を契機に、マスメディアとの連携により通年にわたり大会や市の魅力を発信。

②文化施設の活用

・音楽のまち創造プロデューサー協力のもと、魅力あるコンサートを企画・開催。

R6年度

以降の取組

③施設環境整備

- ・体育施設(ソルトアリーナ防府、テニスコート(向島)、武道館、弓道場、プール、陸上競技場) のLED化工事に向けた準備。
- ・野球場は、令和6年7月中旬に供用開始予定。

④防府競輪場の整備

- ・メインスタンド・附帯施設の建設工事を引き続き実施。令和6年10月供用開始予定。
- ・周辺市道の整備については、令和6年度整備完了予定。
- ・整備期間中も来場客の安全確保を最優先に他の競輪場の車券販売等を実施。

第5次防府市総合計画 行政経営改革の主な取組状況一覧

)行政のデジタル化の推進	令和5年度の主な取組状況	課題・今後の取組
①行政手続の利便性向上 マイナンバー制度を活用した行政手続のオンライン化やデジタル 支術を活用した各種手続の簡素化などにより、利便性の向上を図 ります。	 《マイナンバーカードの普及促進》 ・出張申請受付窓口(ルルサス文化センター)の業務委託を実施。 ・防府市周辺地域の3郵便局(奈美、富海、大道)での申請サポートを開始。 ※地方公共団体情報システム機構の概算値(R5.11末時点)による、 マイナンバーカード申請率92.52%/県90.43% 交付率83.87%/県81.39% 	・出張申請受付や日曜窓口開設等を実施するなど、申請しやすい環境を整えるとともに、今後サービスが拡大するマイナンバーカードの利便性等を周知し、普及・利用促進を図る。・市民の利便性向上に資するため、その他の手続についても、
(ア)マイナンバーカードの普及・利用促進	ペ行政手続のオンライン化≫ ・マイナポータルぴったりサービスにおいて、27手続(子育て関係手続、介護関係手続、罹災証明書の発行申請、滞在地で行う不在 者投票の投票用紙等の請求等)のオンライン化を完了した。	順次オンライン化を推進する。
(イ)マイナポータルなどを活用した行政手続のオンライン化	・汎用的電子申請システム(LoGoフォーム)を本格導入した(住民票交付申請、各種講座申込、各種アンケートフォーム等)。 また、オンラインで完結できる手続・サービスを更に拡充すべくオンライン決済機能や	
(ウ)デジタル技術を活用した窓口サービスのスマート化	マイナンバーカードによる公的個人認証機能の追加を行った。	
(エ)市役所窓口とのオンライン接続による公民館のサービス 拡大	≪窓口サービスのスマート化≫	・コンビニ交付サービスの利便性について、引き続き周知し、 利用促進を図る。
主 な 取	【発行実績】	作切り及連を囚る。
	・令和6年の稼働を目標に、「書かない窓口」実現のための窓口支援システムを構築中。 ・耳の聞こえづらい人とのコミュニケーションの円滑化を図るため、職員等の話した言葉が、リアルタイムで透明ディスプレイに字幕	
	表示されるシステムを窓口に導入した。 ・都市計画情報、道路情報、ハザードマップ、河川水位情報等を一元化したデジタルマップの令和6年3月のオンライン公開に向け、システムを整備中 《公民館の窓口機能、ネットワークの強化》 ・15公民館に配備しているタブレット端末を活用し、オンライン窓口相談を実施中。 公民館の主な利用者となる高齢者が使いやすい新たな遠隔相談システムをモデル公民館である富海公民館、小野公民館、大道公民館に導入した。	・遠隔相談システムについては、3館で検証を行い、拡充の可について検討する。
	【タブレット端末利用実績】 【遠隔相談システム利用実績】 令和3年度 53件	
②行政事務の標準化・効率化の推進 自治体情報システムの標準化などへの対応を推進するとともに、 デジタル技術を活用し、定型業務の自動化やペーパーレス化など	≪自治体情報システムの標準化・共通化(ガバメントクラウド)に向けた取組≫ ・手続きの簡素化・迅速化や行政の効率化を推進するため、市においては、住民記録・地方税や福祉などの主要な20の業務について、令和7年度までに全国標準仕様にあわせたシステムを構築することとしている。	・自治体情報システムの標準化・共通化は、行政のデジタル付推進するための重要な基盤整備であり、標準仕様にあわせ、 務フローの見直しなどに取り組む。
美務の効率化を図ります。	・ガバメントクラウド(全国規模のクラウド基盤)に移行するため、やまぐち自治体クラウド協議会において、7市町で共同運用しているシステムの改修方法の検討を進めている。	・電子決裁システム(財務会計)の導入を検討する。
(ア)自治体情報システムの標準化・共通化への対応 (イ)ペーパーレス化などのデジタル環境の整備	≪ペーパーレス化などのデジタル環境の整備≫ ・民間と行政の相互の利便性向上のため、入札検査室で入札執行する建設工事等について、全ての案件を電子入札で 実施している。	・電子入札システムの物品・役務等の入札への拡充を検討する
(ウ)AI、RPAなどの活用による業務の効率化主 (エ)デジタル化に向けた内部事務の見直し取	《AI-OCR, RPAの導入》 ・合計6業務(土地異動登録、学校給食費口座振替依頼書入力業務等)についてAI-OCR、RPAを導入及び効果測定を実施し、 単純定型事務作業時間の削減を行った。	各種台帳のデジタル化を行い、ペーパーレス化を図るととも 将来的にはシステム等との連携による業務効率化を目指す。 加えて、市民、事業者が必要な情報を必要な時に確認できる うにするなど、利便性の向上につながる取組を検討する。
組	・7業務(収入消込業務、軽自動車税課税台帳登録業務等)を目安にAI-OCR、RPAを新規導入し、単純定型事務作業時間の 削減を推進する。	
	≪行政のデジタル化に向けた推進体制の構築≫ ・全課に任命したDX推進リーダーを対象に、BPR(業務プロセスの見直し)等の内容を含む実践的な研修を開催する。	

(2)人材育成・組織力の向上	令和5年度の主な取組状況	課題・今後の取組
①職員力の向上 幅広い視野を持ち、多様化する行政課題の解決に向けて自ら考え、積極的に行動できるよう、各職位ステージに応じた職員研修の効果的な実施などにより職員の能力向上を図ります。 主 (ア)職員の能力の涵養を目的とした計画的な職員研修の実施(イ)若手職員及び中堅職員の人材育成の強化(ウ)専門的な知識を有する人材の確保と積極的な採用活動の展開 ②組織力の向上 実効性が高く柔軟な職員配置に努めるとともに、誰もが健康で働きやすく風通しの良い職場づくりを進めることで、組織力の向上を図ります。 (ア)職員の能力や特性を活かした効果的な職員配置(イ)組織マネジメントカ向上のための人事考課制度の適正な 運用 (ウ)職場内のコミュニケーションの活性化 (エ)ワーク・ライフ・バランスの推進やメンタルヘルス対策の充実・強化など、働きやすい職場環境の整備	 《人材育成の強化》 ・包括連携協定を締結している第一生命保険株式会社のマナーインストラクターによる職員の接遇向上のための研修を実施。 ・新規採用職員の職場適応力や視野の拡大、先輩職員の指導育成能力の向上を図るため、引き続きメンター制度※1を実施。 ※1 知識や行政経験を有した庁内のメンター(先輩職員)が、メンティ(新規採用職員)に対して行う個別支援活動。 ・専門知識の習得や、外部との連携強化のため、中堅職員等(4名)を地域総合整備財団(ふるさと財団)、山口県等へ派遣。 ・新規採用職員に防府のことを知ってもらうため、市内を散策する「まち歩き研修」を実施。 《専門的な知識を有する人材の確保と積極的な採用活動の展開》 ・学校訪問を行い、学生や就職担当者に対し職員採用試験についての案内を行った。 ・防府市を「音楽のまち」として国内外へ発信するため、また、人脈を生かしたコンサートの誘致などに取り組んでもらうため、防府市出身のチェロ奏者 田中雅弘氏を「音楽のまち創造プロデューサー」として引き続き任用。 	・適正な職員配置や風通しの良い職場環境を作ることにより、職員が持つ能力や特性を十分に発揮できるよう、柔軟に人事管制度を運用する。
(3)公民連携の推進	令和5年度の主な取組状況	課題・今後の取組
①市民等の参画と協働 市民をはじめとした多様な主体が協働して地域課題の解決に取り組めるよう、必要な行政情報などの共有化を図りながら、参画と協働を推進します。 (ア)地域課題を効果的に解決するための事業を市民が提案できる「防疫主物制度業担富制度」の活用	≪各種広報媒体を活用した行政情報の発信≫ ・市広報を中心に、行政情報の発信を行うとともに、SNSによる防府市の魅力を発信。 市広報においては、防府の魅力を発信する「情報ほうふ」と生活に関する情報を集約する「お知らせほうふ」に刷新し、	 ・市民にとって最も身近な広報媒体である市広報の内容を充実させ、より魅力あるものになるように努める。また、情報発信手法の多様化にも、しっかりと対応していく。 ・新庁舎を中心として、安全・安心の拠点となる「行政ゾーン」を形成するため、引き続き、山口県防府総合庁舎機能や防府警
主 できる「防府市協働事業提案制度」の活用 (イ) 防府市市民活動支援センターを活用した市民等との協	市外在住のふるさと納税寄附者等に、「情報ほうふ」による情報発信を行った。 市広報以外の主な広報媒体・・・市ホームページ、各種SNS (Facebook、Instagram)、市広報の電子媒体による 閲覧(マチイロ、マイ広報誌、山口イーブックス)、メールサービス、ケーブルテレビ、 コミュニティFM、定例記者会見・報道発表を起点としたメディア報道(パブリシティ活動)、 LINE運営開始	察署の円滑な移転に向けた具体的な手続きを、県と協調して進めていく。 ・ 令和7年度の消防通信指令業務の共同運用に向けて、引き続き、3市で協議を進める。

(4)財政基盤の確立	令和5年度の主な取組状況	課題・今後の取組
①財源の確保 保有財産の有効活用やふるさと納税の活用など、財源の確保に取り組みます。 (ア)駅北公有地などの未利用財産への民間活力の導入 (イ)市有三世代住宅用地の定住住宅用地としての民間活力の導入	 ≪未利用財産の有効利活用≫ ・随時、未利用財産の課題の解決を図り、課題を解決した未利用財産の売却等を推進する。 ≪ネーミングライツの導入≫ ・ 新庁舎が建設されるため、市民サービスの向上と収益確保の両面を充足する新たな広告掲載対象の検討を進める。 ≪新たな競輪ファン獲得、売上増大のための取組≫ ・ 新たなファンを獲得するため、市独自のインターネット番組の配信を行うなどの情報発信を充実させた。同番組の放送がない開催では、CS放送用で作成した番組を放送し、インターネットですべての防府競輪のレースが観られる体制を整備した。 	 ・未利用財産の課題解決を図り、売却等を推進する。 ・ネーミングライツ事業の対象となり得る施設の選定や新たな広告掲載事業の検討を進める。 ・競輪事業の安定した収益を確保できるよう、引き続き、売り上げを伸ばすための取組や効率的な施設運営を行い、市の財政に寄与する。
(ウ)花木センターのあり方と土地の活用方針の検討 (エ)公会堂へのネーミングライツ導入など、保有財産の有効活用 (オ)防府競輪の活性化による繰入金の増加 (カ)本市の魅力を発信することによるふるさと納税の拡大 (キ)各種未収金の一元的管理による収入の確保 組	・施設整備中で防府競輪場での競輪開催が出来ないため、玉野競輪場及び小倉競輪場を借上げて実施した。 《ふるさと納税利用拡大に向けた売り込み》 ・ふるさと納税ポータルサイト「ANAのふるさと納税」を新たに追加した。 パンフレットをリニューアル、SNS広告配信などの広告活動を行っている。 寄付件数1,086件(前年度比161%)、寄付金額21,210千円(前年度比137%)と順調に伸びている。(R5.9.24現在) ・「防府読売マラソン」の出走権付きの寄附の募集を行った。	・ふるさと納税については、引き続き、魅力的な返礼品の掘り起こしとポータルサイトの追加やSNS等を活用した情報発信を強化する。
②歳出の適正化 常に徹底した事務事業の見直しを進めるとともに、公共施設の管理運営の効率化など、歳出の適正化を図ります。 主 (ア)防府市公共施設等総合管理計画に基づく、施設の複合化、長寿命化、効率化などによる公共施設マネジメントの推進(イ)徹底した事務事業の見直し		・施設の管理計画に基づき、施設改修等の歳出の適正化を図る。
③税源涵養の促進 将来的に安定的な税財源の確保につながる施策に取り組みます。	≪企業誘致の推進≫・市内外の企業に本市がもつ優位性や空き土地の情報を発信。また、進出を検討する企業に対しては、奨励制度の紹介や各種手続きの仲介などの支援を実施。≪駅周辺のまちづくり≫	・地産地消のついて、PRを実施し、市内外への需要を拡大していく。
(ア)雇用や税源の確保につながる企業誘致の推進 (イ)地域経済の活性化につながる駅周辺のまちづくり (ウ)地産地消の強化・徹底 主な取組	 ● 繁商満開通りアスピラート1階に市民ギャラリーにて防府市文化協会運営のもと、会員による様々な文化イベントの発表、交流事業を実施。 ● アスピラート敷地内からくり時計の中央部観光案内サインリニューアルと外周側面への「笑顔満開通り」デザイン文字加工を実施。 ● ルルサス防府駐車場とイオン防府店駐車場の駐車料金を支援することで、まちなかの交流促進及び利便性の向上を図る。 ≪地産地消の強化・徹底・PR≫ ● 学校給食に防府市産ハモや農産物等の食材提供、市広報へ地産地消レンピを掲載するなど地産地消を推進するとともに、防府市産の農水産物の消費拡大のため、ブランド化を推進し、市内外へPRを実施する。 	

■第5次総合計画 KPI一覧表

重要業績評価指標(KPI)	現状値		令和7年度	指標の説明	ドロエ字 続	ᇠᇰ	/# *
	数 値	年 度	目標値		K P I 実績値	時 点	備考
1 安全・安心を第一にしたまちづくり							
河川浚せつ進捗率	30. 4%	R2	100%	市管理河川における浚せつが完了した河川数の割合	83. 5%	R4年度	
防災士の在籍する自治会の割合	77. 6%	R1	100%	地域の防災活動の中心的な役割を担う防災士が在籍する自治会数の割合	84. 2%	R4年度末	
空き家解体費補助事業による除却件数	9件	R1	25件	空き家解体費補助事業を活用し除却された空き家の年間除却件数	17件	R4年度:	危険空き家解体費補助事業
2 未来を拓く子どもの育成							
合計特殊出生率	1. 57	R1	1. 67	1人の女性が一生の間に生む子どもの人数(15~49歳女性人口とその年の出生数により算出)	1. 41	R4年度	
「安心して子どもを産み育てられる支援が充実している」と感じる市民 の割合	_	_	90%	子育て支援に関する子育て世代の市民満足度	-	_	
「将来の夢や目標を持っていますか」 という設問に「当てはまる」と答えた児童生徒の割合	小学校 66.6% 中学校 39.7%	R1	向上	全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙調査において「当てはまる」と回答をした児童生徒 (小学校 6 年生、中学校 3 年生)の割合	小学校 61.9% 中学校 41.7%	R5. 8	KPI実績値について、R2年度全国学力・ 学習調査が未実施だったことから、R3年 度以降直近のデータを記載
全国学力・学習状況調査の正答率の全国比	小学校 +1.3pt 中学校 -1.5pt	R1	全国平均 以上	全国学力・学習状況調査の国語と算数・数学(小学校6年生、中学校3年生)の結果 ※現状値は、全国平均を0とした場合のポイント	小学校 -3.8pt 中学校 -2.4pt	R5. 8	KPI実績値について、R2年度全国学力・ 学習調査が未実施だったことから、R3年 度以降直近のデータを記載
放課後児童クラブにおける低学年の待機児童数	38人	R2	解消	留守家庭児童学級及び児童クラブにおける各年5月1日時点の低学年(1~3年)の待機児童数	0人	R4. 5. 1	
3 健やかな暮らしを支える福祉のまちづくり							
住民が主体の「通いの場」を開催する団体数	38団体	R1	倍増	「やまぐち元気アップ体操」を行う「通いの場」を開催する住民主体の団体数	61団体	R5.10月末	
路線バス利用者数	311千人	R1	300千人以上	路線バス(市内完結路線)の年間利用者数	232, 004人	R4年度:	コロナ禍により利用者が減少
防府市協働事業提案制度による事業実施件数(累計)	5件	H29∼R2	10件 (R3 ~ 7)	計画期間中に防府市協働事業提案制度を活用し提案され、実施に至った事業の累計数	0件	R4年度	
1人1日あたりのごみ排出量	924g	R1	850g	年間のごみ排出量を、人口及びその年度の日数で割った量	917g	R4年度	
4 活力ある中心市街地の形成							
中心市街地の居住人口	5, 441人	R2	5, 600人	各年10月1日時点の防府市の中心市街地の居住人口(住民基本台帳)	5, 512人	R5. 10. 1	
5 強みを活かした産業力の強化 							
農林漁業新規就業者数(累計)	20人	H28∼R2	25人 (R3 ~ 7)	計画期間中に新規に農林水産業に就業した者の累計数	9人	R3~4年度	農業者7、漁業者2
潮彩市場防府来客数	657, 529人	R1	800,000人	潮彩市場防府への年間来客数	619, 848人	R4年度	
新規創業者件数(累計)	242件	H27∼R1	300件 (R3 ~ 7)	計画期間中に新規に創業した者の累計数	118件	R3~4年度	
製造業従業者数	14, 317人	R1	15, 000人	製造業に従事している従業者数	13, 266人	R3年度	
6 恵まれた資源を活かした交流拡大							
観光客数	2,397千人	R1	3,000千人	市内の観光施設などを訪れた年間(1月~12月)観光客数	2, 048千人	R4. 12月末	
スポーツ施設利用者数	521, 143人	R1	600,000人	市内のスポーツ施設(ソルトアリーナ防府、武道館(武道場・弓道場)、野球場、 陸上競技場、運動広場、人工芝多目的グランド、プール、向島運動公園テニスコート、 向島運動公園多目的広場)の年間利用者数	468, 114人	R4年度	
文化施設利用者数	243, 664人	H30	300,000人	市内の文化施設(公会堂、アスピラート、ソラール、山頭火ふるさと館)の年間利用者数 ※R1は、公会堂が改修中であったため、現状値をH30とした	164, 932人	R4年度	新型コロナウイルス感染症対策のた め施設利用者数減少
ふるさと納税額	46, 297千円	R1	100,000千円	本市へのふるさと納税の年間合計額	51, 110千円	R4年度	